

# 相模原市協働事業提案制度

## 相模原市さくらさくプロジェクト推進事業

### 事業実施計画書

平成29年度

相模原市さくらさくプロジェクト推進協議会

## 事業の目的・必要性

### 1 背景

桜は相模原市シティセールスの第一戦略として掲げられている。平成24年度相模原市ブランド戦略会議では、本市の目指すべき都市ブランドイメージとして「住みやすく発展を続ける都市」が設定され、桜は其中で「さくら＝潤い・コミュニティ」と位置付けられた。桜名所は、市役所さくら通りや津久井稲生の桜山など市内各地域に広がっており、多くの市民に親しまれ愛されるその風情は、相模原市民桜まつり（4月）の活況が物語っている。

しかし、現状の取り組みをみると、幅広い市民参加・協働による桜の植栽・保全活動、持続的な桜景観の創造に関わる人材（桜守）の育成、桜情報の発信、桜を核とした観光・ソフト化産業の開発など「桜を仲立ちとした人と自然が共生する環境の形成」の具体的な事業は、必ずしも充分とはいえない状況にある。

### 2 目的・必要性

本事業は桜に関わる6つの事業で構成される。市民参加型の事業を通じて、市民の皆様が相模原を誇りに思い、桜に彩られるまちに憩い、そこで過ごす時間を大切にされ、それぞれの誇りある人生を重ね合わせる、魅力的なまちづくりへの寄与を目的としている。魅力的な事業を企画立案し、多くの市民の方々の賛同の下、桜の植栽をはじめとした事業を協働で取り組み、相模原を誇らしく思う市民意識（シビックプライド）を高揚し、それを国内外に発信する。

各事業における実施目的は以下のとおり。

No.	事業名	実施目的
1	桜の植栽活動	環境保全活動の促進、及び絆づくりを深める。
2	桜守の育成	環境保全意識を広め、市民の誇り（シビックプライド）の高揚を図る。
3	さくら観光プロムナードの開発	観光・産業の振興、及び市域の発展に寄与する。
4	さくらカフェの開講	桜に対する理解と環境保全活動に関心を深める。
5	情報発信	市内の桜名所や開花状況に関する情報を地域の特色ある文化、環境、産業と結びつけて発信することで、市域の発展に寄与する。
6	その他	桜の普及等に寄与する。

## 事業の実現

### 1 桜の植栽活動

市民参加型の桜の植栽活動に取り組む。植樹式等に地域住民を中心とした市民にご参加いただき、5年後、10年後に花を咲かせる桜に思いを馳せ、継続的な関わりも期待できる。桜名所を仲立ちとして人々が集う場が増え、観光面の貢献も期待できる。

実施計画

事業名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
桜の植樹（1～2件）												

### 2 桜守の育成

持続的な桜景観の創造には桜を守り育てる「桜守」が欠かせない。そのために桜に対する基礎的な知識・技能を身に付けた桜守（広い意味での桜サポーター）の育成に取り組む。「桜守育成講座」を受講した方は、桜の植栽活動及び保全活動に携われる能力を有することになる。

また、「桜守養成講座」を受講した桜守はその翌年に実際の活動に沿った実地の研修を行うことにより、その知識や能力の活用を図る。このことにより、協働事業への継続的な関わりを働きかける。さらに、市民自らが植えた桜を自らが守る（養生する）ことにより、環境保全意識を広め市民の誇り（シビックプライド）を高める。

実施計画

事業名	目標人数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
桜守養成講座	30名												
桜守養成講座 実践編 （前年度受講生対象）	30名												

桜守養成講座の目標人数は前年度参加人数を踏襲しており、桜守養成講座実践編の目標人数は前年度実績に基づく人数となっています。

### 3 さくら観光プロムナードの開発

市内の桜名所をめぐる観光プロムナードを開発する。桜名所をめぐるプロムナード（散歩コース）は、市民に愛着を生み、相模原をこよなく愛する市民のみならず、他の地域からの来場者も見込まれ、観光と関連産業の振興を期待できる。

実施計画

事業名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
散策路の公開 （1～2コース）												

平成26年度2コース、平成27年度3コース、平成28年度2コースの公開を実施しています。今後は状況確認をしながら公開を検討してまいります。

[平成26年度]

- ・下溝駅～相武台下駅周辺
- ・尾崎弔堂記念館周辺

[平成27年度]

- ・市役所通
- ・鹿沼公園～淵野辺公園
- ・麻溝、下溝地区

[平成28年度]

- ・水の苑池～花の苑池
- ・プレジャーフォレスト～小原宿

#### 4 さくらカフェの開講

桜の専門家や芸術家らを招き、トークカフェを年2回開催する。市民の誰もが気軽に参加できるオープンカフェ形式の講座を開講し、桜に関する専門知識や栽培技術、桜に関わる文学、美術工芸など幅広いジャンルの話題を提供する。

実施計画

事業名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
さくらカフェの開講(2回)												

#### 5 情報発信

市内の桜名所や開花状況に関する情報を集約しHPを通して発信する。桜を仲立ちとして市民の生活を豊かにし、「指折り数える桜の名所「相模原」」と呼ばれるようなまちづくりのポータルサイトを目指す。

実施計画

事業名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
HPを通じた情報発信	随 時											

#### 6 その他

##### (1) 協議会のPR

新宿バスタや、相模原市内を中心としたホテルなどにさくらマップを配架することにより、旅行者等への相模原魅力PRを継続する。

##### (2) 桜守団体の組織化

平成28年度末から検討をしている「さがみはら桜守の会」について、5月に総会を開き、規約(別紙「さがみはら桜守の会規約(案)」参照)の策定等を行い、正式に地域活動団体として発足を目指す。

##### (3) 市民参加

ア 学生ボランティアの参加

イ 桜守養成講座に市民参加を促す。

ウ さくらカフェやユニコムフェスタ等のイベント時にアンケートを実施する。

エ 観光プロムナードの観点から、桜に関する地元名所を市民から応募し、HPやフェイスブックに掲載する。

##### (4) 経済効果の測定

明確な経済効果を試算することは困難ではあるが、観光プロムナードに設定されている観光名所や店舗にさくら開花後に聞き取り調査を行いデータ化することや、さくらマップの配布枚数(首都圏主要施設および市内公共施設、ホテルなど)、公表されている各桜まつりの来場者数など上記事業以外にカウントの可能な周知活動をデータ化することとする。